

鹿児島大学病院

研修医 別府 万里 2013年10月

鹿児島大学病院初期臨床研修医2年目の別府万里と申します。平成25年10月の1カ月間、出水総合医療センターを中心として出水市で地域医療の研修をさせていただきました。

出水市は空気がきれいで、初日の病棟見学時に窓から見えた海や田園風景の美しさは目に焼き付いています。また、食べ物もおいしく飲み会で出てきた鶏肉や魚介類には舌鼓を打たせていただきました。

研修プログラムは出水総合医療センターでの研修を中心として野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、大川内診療所、出水保健センター、特別養護老人ホーム鶴寿会「たかおの」などでの研修も含まれており、様々な視点から出水市の医療に触れることのできるものでした。

出水総合医療センターでの研修では脳神経外科学、神経内科学を選択しました。主に加治先生について、脳血管疾患への対応や、脳外科的疾患についての勉強をさせていただきました。加治先生はクリニカルパスの推進にも取り組まれており、医療へのITの有効活用に対する考え方等にも触れることができ、医師が医学的知識以外の知識を持つことの有用性を感じました。

各診療所では、プライマリケアに必要な幅広い知識やエコー等手技の勉強をさせていただき、地域医療の最前線であるプライマリケアの面白さとやりがいを感じました。医学的な勉強はもちろんのこと、患者さんの近くで長年診療にあたってこられた先生方の経験談等も印象深く心に残っています。

その他にも、保健センターや特別養護老人ホームでの研修、野田での夜間一次救急診療や院内救急外来、医療安全や臨床検査科、医療連携室やリハビリテーション科、水曜院内勉強会、阿久根との合同の勉強会などもりだくさんの内容でした。それぞれの研修が全て印象深く、充実した時間を過ごすことができました。これらの研修を通じて医療、保健、介護等に関わる様々な立場の人々がどのようなやり方で地域の人々の健康を支えているのかということ幅広く勉強することができました。

また、地域医療における一人一人の影響力の大きさと人同士がつながることの重要性を感じました。現在大学病院で研修している私は、プライマリケアを感じる、そして勉強することのできる出水市での研修を楽しみにしていました。

そして実際に研修を終えてみると、それは期待以上に素晴らしく、実り多いものとなりました。このような充実した研修は、ひとえに関係してくださった方々の心配りのおかげだと感じています。医学的知識にとどまらず、様々な方々が話してくださった地域医療に対する思いや経験談など、こちらで学んだことを生かしてこれからの医師人生を歩んでいけたらと思います。

指導してくださった先生方、コメディカルや事務の方々を含めて今回の研修に関わってくださった全ての方々に心よりのお礼を申し上げます。ありがとうございました。